



「真宗の教えって何ですか」

第九回 「大乘の仏道」 親鸞にいたる大乘仏教の歴史

浄土真宗の大切なお聖教『歎異抄』の中に「ひとえに親鸞一人がためなりけり」というお言葉があります。お釈迦様がこの世にいられて2500年、その教えが親鸞聖人に届くまで1500年以上の時間が過ぎています。その歴史の中で阿弥陀仏の誓われた願いをこのようなお言葉で受け止められました。今ここに私のためであったというお言葉はとても深い感動だったと思います。その教えは今私たちにも届いているのでしょうか。教えが届いているのなら、どのように聞いているのでしょうか。そのことを改めて確かめてみたいと思います。

この公開連続講座は、限られた時間、回数ではありますが、素朴な疑問や思いを大切にしながら浄土真宗のみ教えの基礎を学ぶ貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

講 師 同朋大学教授 ^{ふくだ}福田 ^{たくみ}琢 先生

日 時 2018年2月20日(火) 午後2時～4時

会 場 JR静岡駅ビル「パルシェ」7階 会議室
(JR静岡駅北口、観光案内所の西向かいにあるエレベータでお越しください)

受講料 無 料

申 込 当日、直接会場にお越しください。

	開催日	講題テーマ	講 師
第10回	2018年5月	「真宗門徒」南無阿弥陀仏のいのちに帰る	安藤 弥 准教授

会場はすべて「パルシェ」7階 会議室

主催 真宗大谷派岡崎教区第34組 (静岡地域教化センター指定組事業)

静岡別院 専念寺 明通寺 真勝寺 願勝寺 明泉寺 福泉寺 西敬寺 常光寺 蓮生寺 敬信寺

連絡先 敬信寺住職 伊藤滋 (090-2287-1080)

